広報版

信濃小中学校だより そよげわか竹

第５回　秋桜祭
「虹～架けろ！みんなを繋ぐ超越への橋～」

第5回秋桜祭の幕開け

今年度から義務教育学校となった信濃小中学校の秋桜祭も第５回を迎えることとなりました。今年のテーマは「虹～架けろ！みんなを繋ぐ超越への橋～」。児童生徒会のスローガン〝超越〟に辿り着くための架け橋として「虹」をかけるために、秋桜祭の前から「あいさつ、無言清掃、無言入退場、歯みがき、福祉、交流、合唱」のパワーを充実させることを目標にして全校で取り組んできました。

7つの解放されたパワーがそろう

虹をかけてくれるという伝説の龍“タツドラ”

開祭式では、それまで全校でためてきた７つのパワーが各学年の児童生徒によって解放されました。そして、虹をかけるための最後の答えを見つける２日間が幕を開けました。

元気っ子祭り

初等部主催の「元気っ子まつり」では、各班で考えた13のお店が開かれました。最初は、恥ずかしがっていた子どもたちも徐々に生き生きと活動する姿が見られ、学年を越えた交流の場となりました。リーダーである４年生からは、「１～３年生をまとめられた」「自分の仕事以外のことも進んでできた」「お客さんに自分から話しかけられた」等の感想が聞かれ、初等部最高学年としての成長を感じることができました。

豆つまみ、がんばって！

学習発表会

〈1～3年生〉

１～３年生の元気っ子発表会では、歌や劇などでスイミーや黒姫物語、おむすびころりんやお月見のことを発表し合いました。どの発表も、学習してきたことを伝えようと、大きな声や動きで表現していてとてもかわいらしく、低学年らしい発表会になりました。３年生が司会を務め、堂々と進めることができました。

七夕まつりのおどりをおどったよ

〈4～6年生〉

４～６年生の学習発表会では、４年生は米作りや田んぼで楽しかったこと、歌の発表、５年生はクリーンラリーを中心に水の学習の発表、６年１組は野菜作りやビデオ作品、６年２組は家作りの発表でした。どの学年もしっか

り準備してきた内容で、見ごたえがありました。司会進行は6年生の図書委員が担当し、感想の発表では、係が素早くマイクを持って対応して、上手に進めていました。

4年生 田んぼクイズ

〈7～9年生〉

7～9年生の学習発表会は、各学年の総合的な学習の時間の実践の発表と、英語スピーチ、美術部のアニメーションの発表を行いました。

英語スピーチでは、外国人と英語でコミュニケーションがとれた喜びを、「努力は決して裏切らない」というテーマで語りました。学年の発表では、7年生が「信濃町探訪」、8年生が「職場体験学習」、9年生が「信濃町の可能性と課題」について発表しました。美術部のアニメーションは、膨大なコマをつないで一つのストーリーにした楽しい内容でした。

内容の濃い発表に加えて司会者の楽しいトークで会場が盛り上がりました。

9年生の企画が町のイベントになりました

音楽祭

本年度は各学年、クラスごとに目標歌唱回数を設定し、練習を行ってきました。昇降口にグラフを掲示したので、他の学級でのがんばりを感じることができ、練習の励みになったと思います。当日はそれまで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮しようと、真剣なまなざしでうたっている姿がたくさん見られました。各学年すばらしい合唱でしたが、特に9学年の合唱を聴き、「自分たちもあのような姿を目指したい」と感想を述べている児童生徒がたくさんいました。

音楽祭全校合唱「山と湖水（みずうみ）の町から」

閉祭式

虹をかけるための答えを探す2日間。児童生徒会が辿り着いた答えは『自分から動き出すことの大切さ』。劇の中で「うれしい、楽しい、やった！っていう気持ちも、待ってるだけじゃやってこない。自分から動き出すことが超越への道なのだ」と気付いたとき、信濃小中学校に大きな虹がかかりました。「ただそれはゴールではなく、その虹を渡って超越した学校へ歩みを進めなければいけない。これまで全校が自分たちの力でパワーを集めたように…。」児童生徒会長の吉田さんは閉祭宣言で全校に呼びかけました。秋桜祭のスローガンはここからが始まりなのだと。

大きな虹と共に閉祭宣言

初等部の閉祭式でも見事な虹が！